

# 大野城総合公園キャンプ場を再整備します

大野城総合公園キャンプ場は、令和8年4月オープンを目指し、「キャンプゾーン（オートサイト、フリーサイト等）」、「広場ゾーン」、「森林活用ゾーン」などを配置したキャンプ場へと全面的にリニューアルします。

キャンプ場周辺にあるスポーツ施設や「福岡自治研修センター（まなびのやど福岡）」、「ワンヘルスの森」などの多様な地域資源との連携を図り、「にぎわいの場」を創出します。

## キャンプ場のポイント

### 「眺望」を最大限に楽しめるサイト

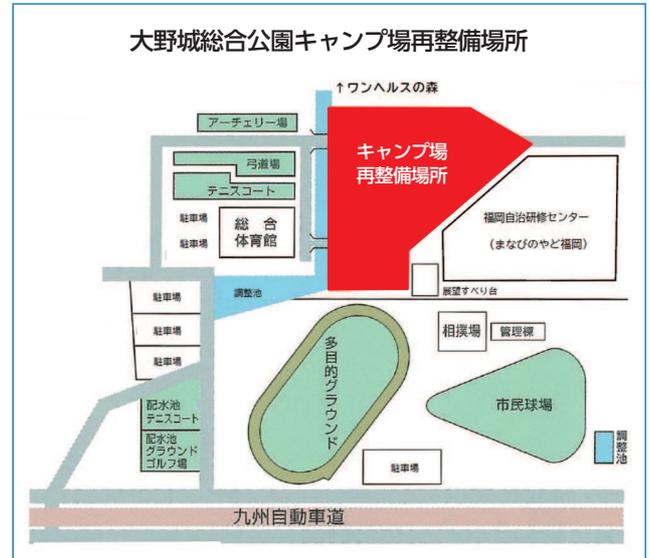
各テントサイトに段差をつけ、市内から福岡市にかけての眺望を最大限に活かすとともに、プライベート空間も確保します。

### 利便性・気軽さを追求したキャンプ場

車両乗り入れ可能なオートサイトや炊事場・シャワー施設の整備、近隣商業施設へのアクセスの良さから、キャンプ初心者やファミリーも気軽に利用できます。

### 豊かな自然と歴史を感じる散策路

森林活用ゾーンは自然と歴史を活かし、こどもたちが自然の中で遊ぶ、楽しみながら自然環境を学べる場所として整備します。



●**注意事項** 現在工事中のため、令和8年3月までキャンプ場の利用および通行はできません。

●**問い合わせ先** スポーツ課 ☎(580)1914

## わたしと本

本の紹介を通して、皆さんも特別な一冊を見つけてみませんか。

大野城市教育長 伊藤 啓一

「本日はお日柄もよく」原田マハ  
(徳間書店)

「魚の棲む城」平岩弓枝  
(新潮文庫)



「人前で話すことが多い人は読んでみて。参考になるから」と、娘から紹介された本です。



妻の実家の本棚にあった幕末のさまざまな人物の生きざまを紹介する本を読んだことがきっかけで、歴史上の人物を題材にした歴史小説にはまった時期がありました。

この本の歴史上の人物は、今話題の大河ドラマ「べらぼう」に登場する田沼意次です。歴史の学習などでは、賄賂政治で失脚した負の側面が強調されがちの印象でしたが、この本を読むと、江戸幕府の経済状況に危機感を感じ、商業振興によって国を富ませる方策を実行した先進的な政治家だったと想像されます。小説ですからフィクションであることを前提として、人物像を楽しみながら読んでみてください。田沼意次の粋だけでなく少し不器用な姿と、それを支える幼なじみの献身的な姿が、平岩弓枝の時代小説らしく描かれた作品です。

### ●問い合わせ先

◇コミュニティ文化課芸術文化担当 ☎(580)19996  
◇まどかぴあ図書館 ☎(586)4010